

全国は一つ

比例代表で5議席絶対確保 得票650万票以上の実現を 参院選活動交流ニュース

No.2 2013年3月8日 日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 名古屋市中区新栄三丁目 12-27 (電話)052-264-0833 (FAX)052-264-0850

現投票制度(非拘束名簿式)で初めて 参院比例候補5人勢ぞろい



東京・新宿駅西口の街頭演説で日本共産党の参院比例代表候補5人が勢ぞろいし、安倍政権と正面から対決する党の候補5人全員の当選を訴えました。演説の様子はインターネットでも中継され、録画動画は党中央のホームページから見るができます。

井上さとし議員の訴えは下記のかこみを参照。紙智子議員は、環太平洋連携協定(TPP)交渉参加に断固反対、党副委員長の小池晃前参院議員は、消費税に頼らない財政再建と社会保障の拡充、弁護士に仁比そうへい前参院議員は、オスプレイの配備撤回と沖縄新基地建設断念の要求、書記局長代行の山下よしき議員は、政府が本腰を入れて経済界に対し、賃上げの働きかけを行うことを訴えました。

原発推進許さない 井上さとし

私は広島で育った被爆2世です。高校は爆心地のそばで、多くの先輩が命を奪われました。“なぜこんな命が粗末にされるのか”この憤りが原点です。

私は、国民の平和の願いが刻み込まれた憲法9条を守り抜く。夏の選挙で「9条を変えて国防軍」「核武装」という政党には、どうしても負けるわけにはいきません。

放射能被害という点は原爆も原発事故も同じです。今も多くの被爆者が原爆症で苦しみ、福島ではふるさとに帰れないたくさんの方がいます。二度と放射能に苦しむ人を生んではなりません。

ところが安倍総理は原発の再稼働を宣言しました。新安全基準は事故原因究明もできておらず中身も骨ぬきです。原発はただちに廃炉プロセスに入るのがもっとも現実的です。

日本には自然エネルギーの豊かな条件があります。夏の選挙で原発推進の安倍政権に待ったをかけ、放射能の不安のない日本、自然エネルギーの花咲く日本をつくりましょう。

【活動地域】東海(愛知、静岡、岐阜、三重の4県)、北陸信越(長野、新潟、富山、石川、福井の5県)、京都府

